（別紙4（2））

事業所名　　グループホーム　なごみの杜

作成日：　令和　　7年　　5月　22日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	天気が良い日には、施設周辺を散歩している。家族の協力を得て、病院受診や墓参り、外食など、個別の外出を行っている。施設からの外出企画を行い、利用者に四季を感じてもらえるような、外出の機会を増やしていくことが今後の課題である。	職員の外出支援に加えて、家族の参加を募り、参加してもらう等して、家族も利用者も楽しめるような外出企画の可能性について、検討に向けた取り組みを行う。	屋外への散歩などの外出の機会を増やしていくのと同時に、家族の協力を得ながら、家族と利用者が一緒になって楽しんでもらえるような外出企画を行い、職員は外出支援をしていく。	6ヶ月
2	24	避難訓練を毎月行い、日中の想定、夜間の想定と様々な時間帯の想定を行い、実施している。併設のケアハウスや隣接の特別養護老人ホームの職員とも連携を取っている。土砂災害の可能性を考慮して、今後の対策を検討していく。	ハザードマップでは土砂災害の可能性の区域でもあるので、通常避難に加え、垂直避難も行い、課題発見と対策強化に向けた取り組みを行う。	土砂災害の可能性を想定して、垂直避難を実施し、日頃から、災害への意識を高めていく。実際に訓練を行うことによって、今後の課題を発見し、災害への対策強化を行っていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。